

# 議会だより

2020年1月発行

梶原正憲

☎ 44-4719

📞 090-5389-9936



鹿屋市立鹿屋女子高等学校校舎リニューアル完成イメージ図

皆様には、ご家族お揃いでのご新年をお迎えになられたことを謹んでお慶び申し上げますとともに、私の議会・議員活動についても温かいご指導・ご協力を賜りましたことに感謝申し上げます。

昨年、全国各地で豪雨・台風など自然災害が多く発生しました。甚大な被害を受けられました皆様に心からのお見舞いを申し上げ、一日も早い復興・復旧をご祈念申し上げます。

また、平成から令和へと改元され、天皇陛下の即位をお祝いする祭典や象徴として国民の安寧と幸せ、世界平和を願うお言葉に深いご慈愛が感じられ、多くの国民が勇気づけられ感動・感激されたことと存じます。

併せて、初代神武天皇につながる皇室ゆかりの地である神代三山陵「吾平（鹿屋市）」「高屋（霧島市）」「可愛（薩摩川内市）」及び「笠狭宮（南さつま市）」4市官民合同準備会を発足し「日本遺産」登録認定に取組みされており大きな期待をしております。

さらに、豪華クルーズ船の観光客が特別チャーター船での大隅半島ツアーが実施され、地域資源を生かした観光による交流人口の増加が見込まれます。

今年は、オリンピック・パラリンピック、国民体育祭の開催や東九州自動車道鹿屋～志布志間（19.2km）が開通予定及び市立鹿屋女子高等学校校舎のリニューアルオープンなど明るい話題もあります。

今年1年間、皆様のご健康とご多幸を心からご祈念申し上げます。

さて、鹿屋市議会令和元年12月定例会は、11月29日から12月19日までの21日間開催されました。

今議会に上程された議案は「一般会計補正予算（4号）及び財産の取得・指定管理者の指定などの議案42件、報告4件、陳情1件、意見書1件を慎重審議し、議案・報告を「原案可決」陳情を「趣旨採択」意見書は「否決」となりました。

一般質問には、21名の同僚議員が登壇し、各分野における当局の見解を求めました。

私も「住宅政策と総合計画」について質問を行いました。（次頁参照ください）



クルーズ船の観光客へのおもてなし風景

今議会の所感として、

・医療的ケア児について、「人工呼吸器」や「胃ろう」等を使用し、たんの吸引、経管栄養など医療的ケアが必要な児童が、本市には約20名おられます。ご家族は日常的に看護や医療的ケアに当たっておられます。現状把握や具体的な対応策について肝属地区障害者自立支援協議会で取組みされていますが「ケア児並びにご家族」に寄り添った、丁寧な支援策を願っております。

・来年度の予算編成について、持続可能な財政運営に努め、ICT、IoT社会への対応や企業誘致などの産業振興、観光・定住・交流人口の増加、学校施設への空調設備の整備、健康・生きがづくり、市民サービス・地域活性化の推進につながる予算を検討されている。諸施策が「ワンチーム」により市民の期待に応える取組みをしてほしい。

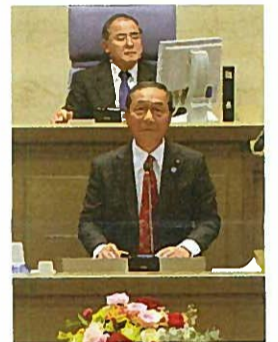
・教育の負担軽減について、現在の児童数は小学校6,459人・中学校3,038人であり、就学援助として、すべての児童・生徒に支援した場合は7億8千万円程度となるが、鹿屋市では経済的な理由により支援を必要としている世帯に対して学用品や入学準備金、給食費、修学旅行費など1億7千万円(22%)を支援している。校舎建設・環境整備、ICT・パソコン機材など今年度は、教育費全体で約61億8千万円が計上されていますが、今後も豊かな教育の実現に向けて全体で取り組みましょう。

また、児童生徒は「地域の宝」であり、健全育成に尽力して参ります。

・ネット・ゲーム依存症について、インターネット接続は家族との共有を含めると小学校約90%、中学校約95%となっており、熱中することにより睡眠時間の不足や生活リズムが乱れるなどにより、不登校・学習時間の減少などの課題が提起されている。

また、視力低下など心身の健康への影響が指摘されており、学校での指導はもとより、児童生徒の自覚、各家庭でのチェックなどが必要であると感じました。

・市政報告会について、開催方法・時期を検討し、2回目を実施することから次代を担う青少年など多くの市民が気軽に参加できるような報告会を期待したい。



質問スナップ

## 令和元年12月議会一般質問概要

### 1. 住宅政策について

本市には、約2千戸の市営住宅が管理され、経年劣化や老朽化に伴い修繕はもちろん、転居された空き家の敷地管理や少子高齢化・人口減少、経済・財政状況も踏まえつつ効率的かつ効果的な維持管理の必要性の観点から質問しました。

(1) 市営住宅の運営と課題を示されたい。

(答弁)・管理戸数は、87団地2,184戸うち入居戸数は1,804戸(83%)、空き家戸数380戸(17%)、管理戸数の約2割が耐用年数を経過している。

- ・課題は、人口減少を見据え、市営住宅の適正管理を進め経費削減に努める。
- ・入居者の高齢化、世帯構成、生活様式の変化からバリアフリー化などの取組みが必要である。

(2) 鹿屋市営住宅長寿命化計画に係る、事業手法検討調査及び事業支援業務委託の報告内容と今後の取組みを示されたい。

(答弁)・鹿屋市営住宅長寿命化計画は、老朽化した住宅の建替え、長寿命化の改善、解体等による用途廃止についての方針を定め、令和4年度までとなっていたが人口減少や財政状況も踏まえ、計画の見直しを行う。



市営住宅 コート札元台

・老朽化した市営住宅は用途廃止、住宅改善においては公民連携手法の導入、維持管理の効率化から指定管理者制度の制度導入を検討する。

(3) 市営住宅屋上への太陽光発電システム設置の計画を示されたい。

(答弁) ・太陽光発電システム設置は、新生団地(49.5KW)、あさぎり団地(44KW)、ハグ・テラス(10.6KW)を売電により、安定した歳入につながっている。

・毎年の売電価格の引き下げにより、採算性が低くなっているため、現在は設置を見合わせている。

・今後は、国による制度見直しや蓄電池の価格変動等の状況を勘案しながら計画策定する。

(4) 安全で快適な住環境に好評な「支え愛ファミリー住宅改修応援事業」の実績を示されたい。

また本事業を継続・拡大する考えはないか。

(答弁) ・平成28年度は208件、3千843万1千円、平成29年度は、216件、4千2万8千円、平成30年度は、221件、4千50万7千円、3ヶ年合計で645件、1億1千976万6千円を補助している。

・市民や事業者からの要望が強く、経済波及効果も高いことから、今後も計画していく。

(5) 危険空き家対策の進捗状況と課題を示されたい。

(答弁) ・危険空き家数1,755戸(H28年度)その中でも倒壊等著しく、保安上危険な状態の空き家が603戸を把握している。

・空き家等の適正管理に関する条例に基づき助言・指導を行った。

所有者確認通知 140件、助言・指導諸送付 111件、勧告書送付 7件、解体撤去促進の補助 74件

・所有者等に指導を行っても、経済的な理由や相続などの問題で改善なされないことが多い。

(6) 寿大通り線の整備に伴い、コート札元台内に憩いの場としてポケットパークを設置する考えはないか。

(答弁) ・寿交番から北側のコート札元台市営住宅を含む未整備区間を昨年度から事業が再開され、早期完成に向けて進捗を図ることが重要である。

・道路拡幅後の景観や歩道の利用状況を見ながら検討する。

## 2. 鹿屋市総合計画の推進について

少子高齢化・人口減少から生じる諸課題克服のため企業誘致の推進、雇用の創出、定住・交流人口の増加、スポーツや文化活動の推進などにより「市民が生き生きと活動できる、住みやすいまちづくり」を推進する「鹿屋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の計画、取組みの成果を共有・期待する観点から質問しました。

(1) 第1期鹿屋市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標・施策などの取組みの評価と第2期鹿屋市まち・ひと・しごと創生総合戦略の中で特に力を入れている施策を示されたい。

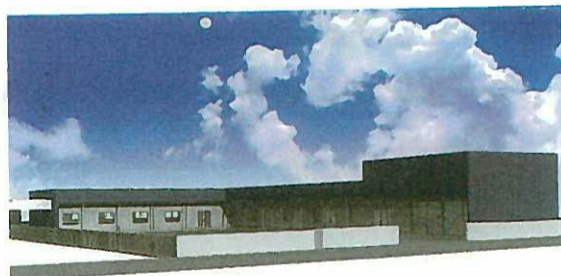
(答弁) ・第1期総合戦略は平成27年度から5年間を計画期間として取り組み、成果指標を設定し毎年度検証している。創生総合戦略有識者委員会による評価を経た上でホームページで公表している。

・4年間の累計実績は、立地協定締結が16件、新規雇用が178人  
新規就農者数 49人、移住件数 43世帯・104人、スポーツ合宿誘致数 1,352団体・86,688人

・第2期総合戦略では、企業誘致や工場などへの支援に加えスマート農業や地域6次産業化の推進、交流人口の増加に対しては、スポーツ合宿への取組みや魅力ある観光づくりを行い、インバンドを含めた誘客に取り組む。

・人口減少の主たる要因は、進学や市外転出が多いことと20代から30代の女性が減少している。

・今後も、人口の減少・少子高齢化の構造上の課題を分析・評価し対応すると共に、地域生産性の向上や高度化を図るなど目標の実現に施策を積極的に推進する。



誘致企業の東亜エルメス新社屋イメージ図(札元1丁目)

(2) 市長2期目就任後、早や3年目を迎える時期となる。「もっと身近な、もっと熱く、もっと分かりやすい」市政運営とするために、市政報告会を実施する考えはないか。

(答弁)・これまでも、本気で語る会や市民の声直行便、高校生議会などにより多くの意見を聞いてきた。市民目線による政策展開を図っていく考えから2回目の市政報告会を開催する。



## 令和元年鹿屋市一般会計補正予算(第4号) 8千819万3千円 可決

アフリカ豚コレラ侵入防止対策や令和2年4月に実施される東京オリンピック聖火リレーに要する経費など、事業進捗上早急に実施する必要のある事業を中心に編成されています。

### (主なる事務事業)

#### 戦略1 産業振興(雇用と所得につながる産業を興す力強いまちづくり)

- ・アフリカ豚コレラ侵入防止緊急支援事業・・・6千462万6千円  
(野生動物侵入防止用の柵の設置に要する経費に助成)
- ・産地パワーアップ事業・・・4,611千円  
(さつまいも生産者にたいして、作業の省力化等を図るため  
機械導入に要する経費に助成・苗の移植機 5台・収穫機 1台)



苗移植機



収穫機

#### 戦略3 教育・文化(心豊かに学び、地域文化を育むまちづくり)

- ・東京オリンピック聖火リレー経費・・・8,159千円  
(令和2年4月28日・29日に県内で実施される聖火リレーへの負担金)  
(コース・鹿屋商工会議所～ダイワ～本町～北田町)



昭和47年 国体炬火リレー

#### 戦略4 生活・環境(生き生き快適に暮らせる街づくり)

- ・排水路整備事業・・・7,000千円  
(国道269号線自衛隊西門前の排水路整備の測量設計)
- ・道路整備事業・・・3,797千円  
(吾平 中福良橋の上部工 工事資材費の増加や水道管工事の追加経費)

## その他の上程議案 採決結果

- ・平成30年度一般会計決算認定について 他6件・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・認定
- ・財産の取得(田崎消防分団・東花岡消防分団の消防車両)・・・・・・・・・・・・・・・・承認
- ・鹿屋市報酬及び費用弁償条例の一部改正について 他6件・・・・・・・・・・・・・・・・原案可決
- ・鹿屋市オレンジパーク串良の議決事項の一部変更について・・・・・・・・・・・・・・・・原案可決
- ・中福良橋架替工事委託の議決事項の一部変更について・・・・・・・・・・・・・・・・原案可決
- ・鹿屋運動公園などの指定管理者の指定について 他28件・・・・・・・・・・・・・・・・原案可決
- ・教育委員会委員の任命(東別府 睦氏 郷之原町)について・・・・・・・・・・・・同意
- ・公平委員会委員の選任(森永 晃治氏 輝北町市成)について・・・・・・・・・・・・同意
- ・所得税法の見直しを求める意見書(案)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・否決
- ・鹿屋市施設使用料の見直しに伴うテニスコート使用について・・・・・・・・・・・・趣旨採択